

2018 年度定期総会 議事録

2018 年 4 月 30 日(祝・月) 13:40~16:15

於：目白ヶ丘教会

◆ 総会点呼

35 教会出席、代議員：80 名、陪席：6 名、委任状：7 教会 総会成立

◆ 議長団選出

◆ 資料訂正

P.28 女性会活動計画：7 月 1 日 小羊会 → 6 月 30 日

◆ 第 1 号議案 2017 年度 活動報告の件

< 議案説明 >

【役員会：内藤（会長・目白ヶ丘）】

- ・資料 P.1-2 参照 以下資料に無い部分の補足
- ・伝道委員会・特任委員の 2017 年度の具体的な働き
 - ①神学校の公開講座に企画段階から関わり連携
 - ②青年活動：北関東地方連合の「伝道隊」への参加
- ・会場使用について協力いただいた教会：目白ヶ丘、常盤台、恵泉、大井、三鷹

【神学校委員会：富田(東京第一)】

- ・資料 P.10-13 参照
- ・事前質問「神学校会計処理に関する事柄」(P.43-) と回答 (P.15-)
- ・東京バプテスト神学校の決算状況等について、川口事務長（篠崎）より説明

【教会教育委員会：古田(東京北)】

- ・資料 P.20 参照
- ・次年度の委員が立てられるように

【教会音楽委員会：岸本敬子(品川)】

- ・資料 P.21 参照

【社会委員会：高市和久(市川八幡)】

- ・資料 P.22 参照

【壮年委員会：山田誠一(大井)】

- ・資料 P.23 参照
- ・山田誠一委員長、2017 年度にて辞任

【女性委員会：八木麻里(恵泉)】

- ・資料 P.25 参照

【少年少女委員会：秋山献一(三鷹)】

- ・資料 P.29 参照
- ・春の修養会報告：会場・目白ヶ丘教会 講師・福永牧師(恵泉教会)

参加者 26 名 スタッフを入れて 46 名

<質疑・討論>

【小味山(千葉)】

P.10 学生数 44 名、説明文と表に矛盾があるのではないか。

【川口(神学校事務長・篠崎)】

総会終了後に、内容を確認してご回答する。

<採決>

賛成多数により可決承認 反対 0 保留 0

◆ 第 2 号議案 2017 年度 決算報告及び監査報告の件

<議案説明>

【内藤(会長・目白ヶ丘)】

・組織型からプロジェクト型への移行によって、枠を超えた勘定科目についての処理の難しさが生じている。

・「分担金」について：連盟への協力伝道献金とは異なり、連合の場合は連合予算に基づいて、活動のための必要最低限の「分担金」となっているので、ご理解いただきご協力いただきたい。

【小牧(会計・常盤台)】

・資料 P.6-7 及び当日配布資料参照。

・分担金として仕分けをしなければいけなかった部分を、預り金として仕分けをしてしまっている部分があるので、改めて説明をする。

・少年少女会について、イベントが年度末にあったために、反映がおそくなった。

<監査報告>

【松田(監査・船橋)】

・当日配布資料に基づき説明あり。

<質疑・討論>

【平尾(茗荷谷)】

予備費支出内訳について、2017 年度決算では空欄になっているが。

【小牧(会計・常盤台)】

実際に活動をした金額についての分かりやすさという点で、各科目に振り分けて記載をしている。

【関(市川八幡)】

雑収入について、すべて返金であるが、その中に予算以上のものもある。どのような意味か。

【小牧(会計・常盤台)】

予算よりも多かったのは社会委員会。前年度繰越金と今年度の活動費を合わせての返金であったため。雑収入という科目の名前について、前会計担当者とも相談の上、そのような科目名とした。

【千野(恵泉)】

議事進行について質問。東京バプテスト神学校の会計監査についても質疑可能か。

【城倉(議長・泉)】

可能である。

【千野(恵泉)】

教室借用施設の費用の残高 200 万円の経緯について、説明をいただきたい。事前に質問させていただいた(P.15-)ことについて地方連合の監査委員に質問を3点。

①P.16 上段 2千万円という献金は、寄付金としては高額ではないか。額の決定プロセスについてお聞きしたい。通常のテナントであれば、借用箇所の改築の実費で捻出するものではないか。2千万円という金額が出てきたことについて、会計監査上どのような評価が出ているかをお聞きしたい。

②同頁中段 通常のテナントであれば、借用契約が終了した場合には原状復帰とするもの。また、神学校に関する総会資料にある通り、ライブ受講者が増加しているのであれば、教室のスペース自体についても考える必要があるのではないか。今後そのようなことが生じてくる場合を想定した、原状復帰費用などについてはどうなっているか。

③P.15 会計監査の地方連合への報告義務化について。

【川口(神学校事務長・篠崎)】

・経緯説明のため 資料 P.16 参照

・まず、茗荷谷教会で 2015 年度の総会で今後貸さないことが決議された。神学校は、改め場所を探したが、高額なため新たな場所は難しい。神学校手持ち資金、1千万。それを用いて、茗荷谷と話し合い、2千万円を献金するなら、一緒にやることに。足りない1千万円の献金を募った。2016年度、赤字となり、200万を取り崩した。

【松村(神学校学生主任・品川)】

2000万円の経緯について。茗荷谷教会に、20年間の施設借用をお願いした。そのための改修工事として4000万円の費用が必要となった。その中で、神学校としては2000万円を負担することになった。現在はまず10年間、その後は5年3年3年という協定。

【竹下(書記、恵泉)】

神学校の会計監査は5月。そのため、連合総会では仮の決算報告書を掲載している。本総会資料においては、2016年度の会計監査報告が掲載されている。地方連合の監査委員の任ではない。

【千野(恵泉)】

恵泉教会に指定献金をしてほしいという依頼があり、教会の総会で説明をする必要があったので、会計監査について、議論の経緯についても是非ご説明いただきたいかった。

会計監査は地方連合の総会にきちんと提示頂き、議員により質疑する時間を持ち、そのことにより課題を共有して、共に担って行けるのではないか。

【城倉(議長・泉)】

神学校の会計監査の時期と地方連合総会の時期が前後しているという課題が明確になった。役員会にこの課題の解決策を講ずることを付託することとする。

【平尾(茗荷谷)】

事実を整理したい。2千万円献金するから、ということではない。2千万円というのは神学校の方から提示された金額であり、そのため200万円という余剰金が生じた。

【松村(神学校学生主任・品川)】

1千万円以上の献金という申し出をし、茗荷谷教会から2千万円という金額の提示があった。

【城倉(議長・泉)】

両者の説明に事実レベルの認識の齟齬があるので総会議場での審議は不可能と判断する。茗荷谷教会と神学校理事会が協議し、共有できた事実認識に基づいた報告文書を、両者の責任において役員会に後日送付いただきたい。

<採決>

賛成多数により可決承認 反対0 保留0

◆ 第3号議案 2018年度 活動計画案（協力伝道会議開催について）の件

<議案説明>

【内藤（会長・目白ヶ丘）】

連盟の協力伝道会議について、松藤宣教部長より。

【松藤（連盟宣教部長）】

・「協力伝道会議」第62回定期総会における連盟の70周年記念事業に基づいて、地方連合連絡協議会の中で、各連合と協力して行うという方向性に。連盟として提示したい方向性は2つ。

①時代の変化の中で、諸教会がどのように伝道していったら良いのかを共に考えたい。

②そのような教会が集まって協力していく、「連盟」の協力伝道のあり方について、また「連合」のあり方について。

・それらを連盟の機構を検討していくための参考としていきたい。

<質疑・検討>

【岡田（富里）】

P.5 プロジェクト案B、活動内容について。『連合マンダラート』とは仏教と関係があるか

【内藤（会長・目白ヶ丘）】

連合の宣教会議、連合だよりにおいて共有済みと思っていた。『マンダラート』は確かに仏教用語であるが、この図式を活用した目標達成ツール。

【岡田（富里）】

言葉の遣い方は気をつけて欲しい。

【内藤（会長・目白ヶ丘）】

言葉のルーツは色々あるが、それをどう取舍選択していくかということだと考えている。配慮が必要という意見として受け止める。

【志築（市川大野）】

- ・東京バプテスト神学校の開講課目について、どの程度ライブ授業化されているのか。
- ・会計について、基金の額に齟齬があるのではないか
- ・今後の中長期的なビジョンについて。

【川口（神学校事務長・篠崎）】

新しい動きとしては連続公開講座。通常10～20名前後であるが、公開講座は参加者55名。授業料収入も約200万円増。授業の1/3が通信、その半数がライブ受講。基金の額については確認し、修正したものを送付する。3地方連合の信徒にとって意義のある神学校を目指したい。

【高市（社会委員長・市川八幡）】

P.22-23 について、自身の牧師辞任により、担うことが難しくなるので社会委員長就任を辞退し、

その人選を役員会にお委ねする。

<採決>

賛成多数により可決承認 反対0 保留1

◆ **第4号議案 2018年度 予算案の件**

<議案説明>

【内藤（会長・目白ヶ丘）】

プロジェクト型の活動のため伝道委員会活動支援費に60万円計上。

<質疑・討論>なし

<採決>

賛成多数により可決承認 反対0 保留0

◆ **第5号議案 連合役員選出の件**

<議案説明>

【中田(候補者選考委員・市川大野)】

連合役員について、会長：内藤崇（目白ヶ丘）、副会長：末盛桜子（多摩川）、書記：竹下達也（恵泉）、会計：石井規之（多摩みぎわ）を、議場に連合役員候補者として推薦する。

<質疑・討論>なし

<採決>

賛成多数により総会は下記の者をそれぞれの役職に選任した。

会長：内藤崇（目白ヶ丘） 副会長：末盛桜子（多摩川） 書記：竹下達也（恵泉）

会計：石井規之（多摩みぎわ）

◆ **第6号議案 各委員長・神学校理事（連合派遣）承認の件**

<議案説明>

【中田(候補者選考委員・市川大野)】

各委員長について。社会委員長の人選以外は、第4号議案の承認可決と共に選任されたと考える。教会教育委員長：古田佳子（東京北）、神学校委員長：松田俊介、壮年委員長：竹下達也（恵泉）、女性委員会：平井純子（目白ヶ丘）、少年少女委員長：秋山献一（三鷹）。一事不再理の原則に基づき、ここでは審議を行わない。

神学校理事について。木村一充（大泉）と、末盛桜子（多摩川、副会長と兼任）を、神学校理事候補者として議場に推薦する。

<質疑・討論>なし

<採決>

賛成多数により総会は下記の者を選任した。

神学校理事：木村一充（大泉） 末盛桜子（多摩川）

◆ **第7号議案 監査委員選出の件**

< 議案説明 >

【中田(候補者選考委員・市川大野)】

松田祐治(船橋)、岩崎秀子(常盤台)を議場に監査委員候補者として推薦する。

< 質疑・討論 >

【松田(船橋)】

名前の訂正をお願いしたい。

【中田(候補者選考委員・市川大野)】

訂正いたします。申し訳ありません。「祐」ではなく「裕」。

< 採決 >

賛成多数により総会は下記の者を選任した。

松田裕治(船橋)、岩崎秀子(常盤台)

◆ 第8号議案 東京北キリスト教会の日本バプテスト連盟・地域協働プロジェクト申請の件

< 議案説明 >

【田丸(東京北)】

・資料 P.31- 参照

・PV(2分ほど)視聴

・茗荷谷、泉、志村、幡ヶ谷教会が協働(共同提案)教会に。

・東京北教会の5つのビジョンについて、特に1,2について説明

1の具体→みんなの食事会(4月48名)、宿題をする会

2の具体→保護者支援、多言語図書室、カラフルカフェ

・初め、東京北教会の夢プロジェクトだったものが、「地域協働プロジェクト」として賛同をいただき始めている。

< 質疑・討論 >

【加藤(大井)】

長い間の祈りと分かち合い、忍耐に敬意を評する。趣旨に賛成したい。その上で質問。

①建物のイメージについて、費用が充分なのかについて。

②人件費のイメージについて。

③多言語図書室、カラフルカフェについて。

④地方連合プロジェクトにおける事務局強化との関係性について。

【田丸(東京北)】

①ワンフロアを多目的に使用するイメージ。できれば子どものためのもう一つの部屋を含めて。用途に応じて形を変えて使える空間。予算については厳しさも感じる。不動産物件とは出会い。事例はある。

②年間の人件費は130万円。パートの職員を想定している。出勤日数や時間は限られるが、プロジェクトに責任をもって一緒に進める方を立てたい。

③多言語図書室とは、子育て支援の一環。東京北がこれまでの集会で出会っている多様なルーツをもつ保護者の方々に、絵本などを媒体として相互理解を深める居場所を目指す。カラフルカフェ

は、福島で外国人被災者にマイストーリーを語ってもらったことに倣って、東京北がすでに出会っている外国籍の方々にご自身のことを語っていただくと考えている。国籍にとらわれず日本社会で生活を共有し、出会いと共生の場として用いたい。

【内藤（会長・目白ヶ丘）】

④東京北教会のプロジェクトとは、その取り組みや課題の情報発信・事例共有が大事になってくると思うが、これはこれからの地方連合の方向性と同じだと思う。そして一緒に行くことで逆に相乗効果が生まれるのではないかと考えている。ただ、地方連合の事務局規定や事務局員のジョブスクリプトをしっかりと作っていききたい。また一緒にやるという結論ありきの進め方ではなく、東京北教会と慎重に話し合って検討して進めていきたい。

【岡田(富里)】

- ①現在会員の中で外国語を使用するかたはどれくらいの割合か。
- ②連合の遠方の教会にとっては、どのように関われるか。
- ③会堂取得をもっと素直に訴えてもよいのではないか。

【田丸(東京北)】

- ①会員では1割未満。来会者の中に多い。
- ③地域協働プロジェクトが単純に会堂取得のための資金集めに終わらないよう、最大8カ年のプロジェクト期間中に祈りや喜びを分かち合って取り組んでいきたい。東京北キリスト教会の伝道の使命をより実現するために、集会の場所を得たいと願っている。

【青木(副議長・中野)】

総会時間の延長の提案 → 15分の延長が承認された。

【小味山(千葉)】

2018年度予算案について。宣教費15万円について、少なすぎるのではないか。

【田丸(東京北)】

予算に限界がある。教会員数に対する献金額は、決して少なくない。会場費、牧師館といった固定費の支出が大きい。過去には連盟の伝道支援プログラムも利用しているが、今年度はこのプロジェクトに集中する。

【青木(多摩ニュータウン)】

ひとつの教会のために教団としてお金を出していくということ、新築物件というのは時代に適わないのではないか。もう少し練る必要があるのではないか。

【塩山(茂原)】

意見。これからの教会は、個性をもった教会を目指した方がよいと感じる。その点で、多文化共生を目指す教会のモデルとなってほしい。

<採決>

賛成多数により可決承認 反対0 保留11

◆ 第9号議案 総会役員選出の件

<趣旨説明>

【竹下(書記・恵泉)】

- ・立候補者の受付：なし
- ・役員会は次期総会議長として岡田久(富里)を議場に推薦する。なお、副議長・書記については議長とも相談の上、後日速やかに候補者を立てる。

<質疑・討論>なし

<採決>

賛成多数により総会は下記の者を選任した。

議長：岡田久（富里）

すべての議案が終了

報告

閉会祈祷 【藤井(副会長・花小金井)】

議長
啓

城倉 啓



城倉

副議長

青木 竜二



青木竜二

書記
真実

山下 真実



山下

書記

久米 麗



久米麗